



朝夕の気温が下がり、秋の気配を感じるようになりまし。子どもたちはますます活発になり様々な動きができるようになったり、じっくり玩具に向かって遊んだりしながら好きな遊びを楽しんでいます。

気温差から体調を崩しやすくなります。体調の変化に気を付けながら元気に過ごしていきたいと思ひます。

ベランダでの戸外遊び

水遊びが終わり、歩けるようになった子は靴を履いて、ずり這いやハイハイの子はシートを敷いてベランダで遊んでいます。

モビーカーに自分で乗ることができ、満足そうにする子や少しずつ後ろへ下がったり、足の使い方を知り、前進できるようになつた子。ボールやフープを追いかけたり、自由に探索を楽しむ子。空を見上げると鳥が気持ちよさそうに飛ぶ姿を指さしたり、トンボを見つけ「あ！あ！」と知らせてくれる子もいます。

ひとりひとりの心の動きを見逃さず、それぞれが興味を示しながら、伸び伸びと体を動かして楽しんでいきたいと思ひます。



10月に入り、すっかりコミュニケーションの一つになっているわらべうた。友達と保育教諭がしていると、「私もー！」と入ってくる姿があったりと、楽しい時間の一つです。

わらべうたの中にある『顔あそび』では、目はここ、鼻はここ、と目・鼻のありかを教えるだけではなく、顔を見て相手を知り、目を見て話を聞くという、人としての基本の習慣への土台になります。

子どもたちのだいすきな顔あそび『ちょつちよつあわわ』を紹介しますね。

・3>3> あわわ あえぐあえぐ ちよちよ



☆来月には『親子であそぼ』の行事があるので、是非お家の方と子どもたちと一緒にわらべうたの時間も楽しんでもらえたらと思ひます。



絵本が大好きな子どもたち。読んで！と手を引いて絵本の所へ誘い、お気に入りの絵本を指差している姿や、「いただきます」や「ごちそうさま」の言葉に反応し、手を合わせる姿。言葉の語尾を覚え、「た」と一緒に発音する姿など様々です。

最近ではベランダで靴を履き歩けるようになる姿が増えてきたことから「くつくつあるけ」の絵本を見て、靴がイキイキとつま先で歩いたり、ジャンプをしすぎて転んでも自分で起き上がる様子を見て喜ぶ姿、「きゅっきゅっきゅっ」からスプをこぼしても拭いてもらうことにより心地よさを感じる姿など、言葉の音や響きリズムが楽しいものだと感じ、表情豊かに喜ぶ子どもたちの姿を見ることは読み手もワクワクさせてくれます。

これからも一冊の絵本を通して子どもたちひとりひとりと身近なものに心を通わせたり、同じ時間を過ごせることの嬉しさを大切に過ごしていきたいと思ひます。